

名古屋市立宝神中学校での出前講座実施報告

名古屋自然保護官事務所は、6月4日に名古屋市立宝神中学校、1年生6クラス(185名)を対象に藤前干潟を紹介する出前講座を実施しました。

宝神中学校の1年生は、6月12日に稻永ビジターセンターでの校外学習を予定しており、事前学習として今回の出前講座を行いました。

スライドでは、「藤前干潟の生き物と歴史を知ろう！」というテーマで、藤前干潟の成り立ちや干潟の生き物を中心に、藤前干潟の歴史的背景や環境保全についても紹介しました。

宝神中学校は藤前干潟に近い場所にあり、小学校の総合学習で藤前干潟を訪れたことのある生徒が多くいたため、干潟について復習をしながら新しい知識が得られるように、干潟の成り立ちや潮の干満など自然環境について特に時間をとって説明をしました。また、なぜ世界的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されたのかといった内容にまで踏み込んで話をしました。

干潟や生き物以外にも、歴史やラムサール条約にまで及ぶ駆け足の内容でしたが、皆さん真剣にメモをとっている姿が見られました。6月12日の校外学習では今回の話を思い出しながら、藤前干潟を観察して欲しいと思います。



*出前講座の様子 2

◆講座の内容◆

テーマ	藤前干潟の生き物と歴史を知ろう！
1.	藤前干潟はどんなところ？
2.	どんな生き物がいる？ 底生生物と鳥類の紹介
3.	藤前干潟の歴史 埋め立ての危機 ラムサール条約と保全活動など
4.	現在抱える問題 減少している生き物や漂着ごみ
5.	質問タイム



◆実施概要◆

実施日：平成27年6月4日（木）

13:00～13:50（5時限目）

場所：名古屋市立宝神中学校（港区）

対象：中学校1年生（6クラス、185名）、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名



*出前講座の様子 1

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所（TEL：052-389-2877）までお問い合わせください。

2015年6月8日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 西部理恵